

## 令和4年神奈川県議会第2回定例会 総務政策常任委員会

令和4年7月15日  
意見発表

### 亀井委員

公明党県議団としまして、本委員会に付託された諸議案について意見、要望を申し上げます。まず、県のたより及び議会かながわの印刷用紙の白色度不足に係る対応についてです。

本件に係る用紙発注は、退職した前担当者が独自に行つたことであったということですが、この担当者は一従業員ではなく取締役がありました。取締役ということであれば、一担当者という枠ではなく、会社を代表する、まさに会社とニアリーイコールの存在であります。県としては、一担当者が独自で行つたなどという、いわば会社は関係ないかのような捉え方ではなく、会社としての責任についてもより追及すべきと考えます。

また、資料によれば、この件における入札については、もし(株)リフコムの落札がなければ、昨年、一昨年の次点の入札者が落札者となる資格があったと承知をしています。時は戻せない中で、不正に気がつかなかったことで受注機会を不当に奪われた業者には大変申し訳ないことだと私も思います。県として受注可能だった業者が受注できなかつたことを深く反省し、このようなことが二度とないよう取り組むことを要望します。

次に、ライフサイエンス関連企業団のシンガポール訪問についてです。そもそも今回のシンガポール訪問については、時期の選択について検討の余地があったと思います。議会開会中であったことはもちろん、コロナウイルス感染症の拡大について懸念のある時期であるため、知事の訪問について調整した結果、見合せをしました。質疑において、知事が行かなくても大丈夫かとの問い合わせに、大丈夫であり、知事もオンラインでの参加をするとの答弁には、正直少しがっかりしました。知事が実際に行くことのバリューや勝負するのではないことが分かったからであります。オンラインでよいのであれば、当初私が言ったように、初めから知事はオンラインで参加をし、調整の手間を省くべきありました。

また、今までの取組の精査についてより丁寧に行い、成果の見える化をさらにお願いをしたいと思います。その成果を検証して、より大きなビジネスチャンスを今後県内企業がつかめるような取組をお願いするとともに、県と県民への成果の還元についても注力をしていただくよう要望します。

当初の未病やヘルスケア・ニューフロンティアという目的での推進は続けていくと思いますが、そろそろその他の目的、より実効性があり、事業につながりやすいものについて参入し、より多くの県内企業の活性化にもつながるよう取組を要望します。

以上、意見、要望を申し上げ、本委員会に付託された諸議案について賛成をし、意見発表といたします。